

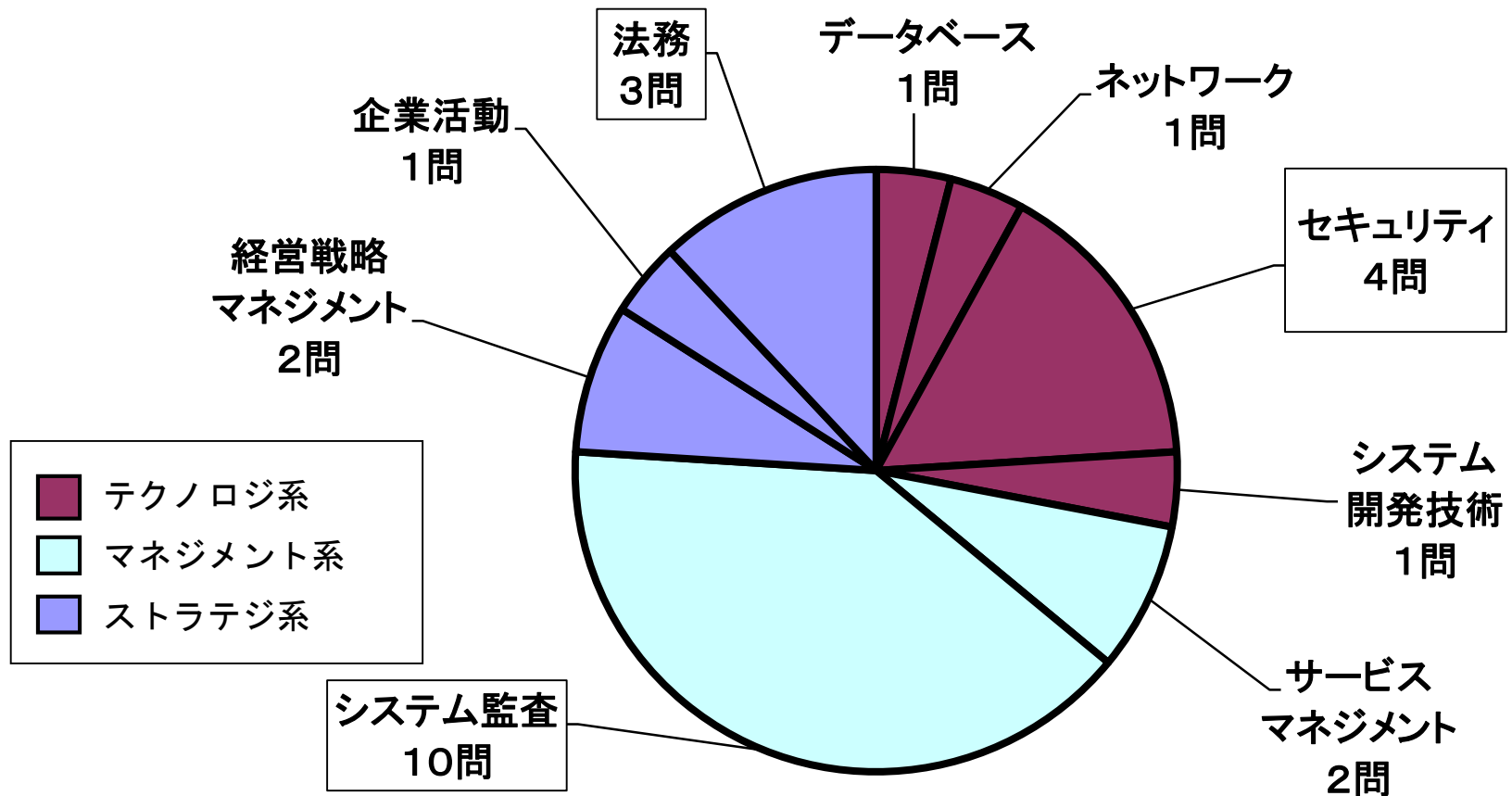
令和4年度秋期試験 システム監査技術者(AU) 出題傾向分析

TAC株式会社



AU 午前Ⅱ 分野別出題数

- ・出題割合は変化なし。重点分野から17問



AU 午前Ⅱ 特徴と難易度

- ・ “**拠り所のある問題**”が多く出題
 - － 基準・規格・法律・フレームワークなどから**11問**
- ・ システム監査基準・管理基準と  **財務報告に係る内部統制の基準類(金融庁)** から**5問**
 - － 「システム監査」の10問のうちの半数を占める
- ・ 「**セキュリティ**」は**レベル4**だが、基礎的な技術
 - － 暗号方式, マルウェア対策, スパムメール対策
- ・ 新作9問, 過去問題16問(うちAUから9問)
 - － 年度の集中はなく, **H27年～R2年からバランスよく出題**

⇒ **標準的**

AU 午前Ⅱ 新作問題

・ 新作問題の目新しいテーマ

システム管理基準：基準の活用における留意点

内部統制評価基準：自動化されたIT業務処理統制

JIS Q 27002：運用システムに対する監査活動の影響を
最小限にするための管理策及び実施の手引

JIS X 9251：プライバシー影響評価(PIA)

JIS X 0153：システム及びソフトウェアの“参照モード”の
利用者用文書類への要求事項

デューデリジェンス、コンティンジェンシー理論

・ 過去問題の類題

システム監査基準：フォローアップ

バックアップに必要な磁気テープ本数

⇒ 基準や規格からの出題がとても多い！

AU 午後Ⅰ 特徴と難易度

- ・ 今の世の中を反映した出題
 - － 問1 改正個人情報保護法への対応(R4年全面施行)
 - － 問2 新型コロナウイルス, 働き方改革に対応した
押印廃止とワークフロー導入
- ・ 1問当たりの解答数が増加
 - － 例年は5つ → 6つ～8つに増えた
 - － 1問の配点が低くなるので, ミスした時のダメージが小さい
- ・ 問題によって難易度差あり
 - － 問題選択が得点に影響するおそれあり

AU 午後Ⅰ 各問題の特徴と難易度(問1)

・ 問1 個人情報保護の監査

法改正への対応の監査

- オンラインショッピングサイトシステムの
改正個人情報保護法(R4年)への対応の監査
- 会員からの個人情報開示請求への対応
 - ・ 本人情報や第三者提供記録の提供要求への対応
 - ・ 短期保存データの開示対応
- 位置情報が特定の個人を識別できる可能性の考察
- データ消去の適切なタイミングの考察
- 専門用語が多く読解が難しい。設問の意図を掴みにくい

⇒ 難しい

AU 午後Ⅰ 各問題の特徴と難易度(問2)

- ・ 問2 ワークフローに関わるシステムの監査
 - － ワークフローシステムを使ったペーパーレス化の推進
 - ・ 新型コロナ対応、働き方改革 → リモートワークの導入
→ **押印・署名の廃止** → ペーパーレス化
 - － 部署別に申請書の見直しの検討
 - ・ 事務処理自体の廃止を検討しているか
 - ・ 他部門と廃止の交渉をしているか
 - ・ 押印から電子署名への変更を検討しているか
 - ・ 押印処理続行の場合、廃止の目標時期を定めているか
 - ・ 経営戦略との整合がとれているか
 - － 設問と問題文との対応が取れており、理解しやすい
⇒ **標準的(解きやすい)**

今の世の中を
反映した事例

AU 午後Ⅰ 各問題の特徴と難易度(問3)

- ・ 問3 システム運用業務の監査
 - － 金融機関の各種情報システムの運用業務を外部委託（委託元、委託先、再委託先のそれぞれの取組みと連携）
 - ・ 運用管理規程の変更に伴う運用手順書の変更
レビューや承認手続の確認
 - ・ 夜間の障害発生への対応と承認手続、その確認方法
 - ・ 再発防止策の横展開の組織的な実施の確認
 - ・ 将来の障害発生に備えた予防保守計画の確認
 - － 一般的な運用業務でイメージしやすい事例だが、
解答ポイントのつかみ方や解答のまとめ方に迷う
⇒ やや難しい

AU 午後Ⅱ 特徴と難易度

・例年とは出題形式が変わった？

①トピックテーマの出題がなかった

直近4回では、毎回新しい技術や開発手法が出題

R3: **RPAツール**, R2: **AI**, H31: **IoT**, H30: **アジャイル開発**

今回は監査計画や障害管理で、一般的なテーマ

②定番の「リスク」や「コントロール」が問われていない

問1: **監査業務そのもの**に関する出題(監査計画)

問2: リスクとコントロールではなく、**着眼点と設定理由**

中身はそれほど大きな変化ではなかった

⇒午後Ⅱ全体としては**難しめ**

AU 午後Ⅱ 各問題の特徴と難易度(問1)

・ 問1 情報システムの個別監査計画と監査手続について

リスクやコントロールが
問われていない！

設問ア：情報システムの概要及び特徴，
システム監査の個別監査計画の概要

設問イ：個別監査計画で設定した重点項目・着眼点，
想定した監査上の制約

設問ウ：実施できない監査手続，それによって生じる監査リスク，
監査リスクに対応するために作成した監査手続

- － イレギュラーな内容，論述に含めるべき観点多い。
問題文をしっかりと読まないと出題趣旨から外れてしまう

「～を踏まえて」

⇒ 難しい

AU 午後Ⅱ 各問題の特徴と難易度(問2)

・ 問2 システム障害管理態勢に関する監査について

設問ア: 情報システムの改変の内容, システム障害によって
サービスへの影響が拡大する要因, 改変後のシステム障害管理態勢の概要

設問イ: システム障害管理態勢の実効性を確かめるために
設定すべき着眼点, 設定理由

リスクやコントロール
に置き換えられる

設問ウ: 入手すべき監査証拠, その監査証拠に基づいて確かめるべき内容

監査手続に置き換えられる

- 「リスク・コントロール・監査手続」が問われていないように見えるが、それに相当する内容。 ⇒ 標準的～やや難

AU 今後の対策（午前Ⅱ）

<午前Ⅱ対策>

－ 基準・規格・法律・フレームワークを押さえる

- ・「システム監査」

システム監査基準, システム管理基準（H30年改訂）

財務報告に係る内部統制監査の基準（R元年改訂）

- ・「法務」

近年改正の法律に注目：電子帳簿保存法, 著作権法など

※過去問題を解くと, どんな基準等が出处になっているかの傾向をつかめる → その**最新版**を押さえておく

－ 余裕があれば, 分野の専門試験の問題を見ておこう

- ・「サービスマネジメント」ならSM, 「経営戦略」ならST

AU 今後の対策（午後Ⅰ）

<午後Ⅰ 対策>

－ 主要3テーマについて過去問題演習を

- ① システム開発関連の監査
- ② 業務処理統制の監査
- ③ 情報セキュリティ監査

特に①がよく出ます！
企画～開発～運用まで

それぞれのテーマで取り上げられるリスクを押さえておく

－ 新技術が取り上げられやすいので、知識を得ておく

- ・ DX, AI, IoT, アジャイル, テレワーク, **マイナンバー**,
サイバーセキュリティ, クラウドセキュリティ,
ビッグデータ, RPA など

午後Ⅱにも役立ちます！

AU 今後の対策（午後Ⅱ）

<午後Ⅱ 対策>

- 過去問題を使ってさまざまな題材での論述演習を
 - ・ 論述の中で、「リスク, コントロール, 監査手続」の対応がしっかり取れているかを常に意識する
- 「監査業務の問題」への準備
 - ・ 監査計画の論述を体験しておく
- 新技術に関する問題への準備
 - ・ その技術に特有のリスクを知り、監査する場合の着眼点を想定しておく
- 監査経験がなくても大丈夫！
- 問われたことに正面から「解答する」ことを意識する

今回の問1 と R3年問2,
H30年問2がこのタイプ！